

令和7年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名： 沖縄県

農業委員会名： 宜野座村

I 農業委員会の状況(令和7年4月1日現在)

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5 年 10 月 1 日

任期満了年月日 令和8 年 9 月 30 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	7	7
認定農業者	—	3
認定農業者に準ずる者	—	2
女性	—	2
40代以下	—	4
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	5	5	4

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	212
農業経営体数	170

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業者数	199
女性	52
40代以下	40

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	42
基本構想水準到達者	0
認定新規就農者	8
農業参入法人	5
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積		472	472			472

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	472	ha	98	ha	20.7	%
課題	農業者の減少、高齢化等による遊休農地の増加及び農地の分散化により、担い手への農地の効率的な集積・集約に支障をきたしていることから、農地中間管理機構等を活用した農地利用集積を図る必要がある。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	13	年度	集積率	56	%
今年度の新規集積面積	27	ha	農地面積(C)	472	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	125	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	26.4	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③ 実績

今年度の新規集積面積	2.99	ha	農地面積(F)	472	ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	66.4	ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	14.0	%
目標に対する達成状況(H)／(E)	53.0	%			

農業委員会の 点検結果	農業者の減少、高齢化等による遊休農地の増加及び農地の分散化により、担い手への農地の効率的な集積・集約に支障をきたしている。また新規集積面積より、担い手の離農、規模縮小が多くあり、集積率が増えない。 農地中間管理機構を活用した農地利用集積を図りたいが、出し手・受け手をマッチングしていることが前提なので、マッチングがうまくいっていない。
----------------	--

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積		
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	57.0	ha	57.0 ha 0.0 ha
	・出し手と受け手の意向を十分に把握し、マッチングを行う。 ・老朽化したハウスの撤去や利活用を検討する。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	32.0	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	6.0	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b
黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針		

イ
新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア
既存遊休農地の解消

a
緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	21.0	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)／(C)	300	%

b
黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	特になし
-------------------------	------

イ
新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	1.7	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	8月～10月		10月	
	1号遊休農地の面積	57 ha	うち緑区分の遊休農地	57 ha
農地の利用意向調査			うち黄区分の遊休農地	0.0 ha
	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	10月～2月		2月～3月	

農業委員会の点検結果	既存遊休地については、徐々に解消されつつあるが、新規の遊休地が多く、遊休農地面積が年々増加している。遊休農地面積を増やさないような対策が必要と思われる。
------------	--

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和5年度新規参入者		令和6年度新規参入者		令和7年度新規参入者	
	9	経営体	15	経営体	2	経営体
	3.1	ha	4.6	ha	0.6	ha
課題	農地を貸すことへの抵抗が強い地権者が多く、新規就農者が効率的かつ安定的に農業経営を行うために必要な一定規模以上の集団化した農地の確保が困難である。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和5年度	令和6年度	令和7年度	平均
	3.1 ha	4.6 ha	0.6 ha	2.8 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	0.00 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		0.0	ha
公表URL		(その他の公表方法)	
目標に対する達成状況(B)/(A)		0.0	%
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数	2	経営体
	取得農地面積	0.6	ha

農業委員会の点検結果	農地を貸すことへの抵抗が強い地権者が多く、新規就農者が効率的かつ安定的に農業経営を行うために必要な一定規模以上の集団化した農地の確保が困難な状況であるが、新規参入者が徐々増加している状況である。 農業委員会としても、可能な限りあっせんや後押しをしていく必要がある。
------------	---

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	7	人
			農地利用最適化推進委員の人数	5	人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	2	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
10月～11月	②	遊休農地の地権者または権利者の意向確認
12月	③	新規就農相談会の開催及び農業後継者育成センター研修生募集

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	2	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
10月～12月	②	遊休農地の地権者または権利者の意向確認
1月10、11日	③	新規就農相談会の開催及び農業後継者育成センター研修生募集

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	2回
---------------	----

開催時期	令和7年10月下旬	相談会名	新規就農相談会
参加者数	2名程度	開催場所	宜野座村体育館
相談会の内容	宜野座村まつりの2日間、会場内にブースを設置し、新規就農者に対する支援制度や村で設置している農業後継者等育成センターの紹介・相談等を行う。		
開催時期	令和8年1月下旬	相談会名	新規就農相談会
参加者数	2名程度	開催場所	宜野座村観光拠点施設
相談会の内容	宜野座村産業まつりの2日間、会場内にブースを設置し、新規就農者に対する支援制度や村で設置している農業後継者等育成センターの紹介・相談等を行う。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	2回
---------------	----

開催時期	令和7年10月26～27日	相談会名	新規就農相談会
参加者数	3～4名	開催場所	宜野座村体育館
相談会の内容	宜野座村まつりの2日間、会場内にブースを設置し、新規就農者に対する支援制度の紹介・相談等を行った。		
開催時期	令和8年1月10～11日	相談会名	新規就農相談会
参加者数	1～2名	開催場所	宜野座村観光拠点施設
相談会の内容	宜野座村産業まつりの2日間、会場内にブースを設置し、新規就農者に対する支援制度の紹介・相談等を行った。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

現状、目標に対しての達成状況が期待を下回る結果となっている。高い目標を設定しているということもあるが、目標に近づけるよう、日々の最適化活動を心掛けて行きたい。

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	0
目標に対し期待を上回る結果が得られた	1
目標に対して期待どおりの結果が得られた	1
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	10

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入